

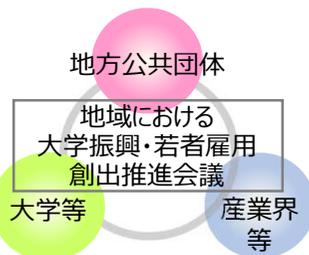
# 地方大学・産業創生交付金事業について

令和3年6月8日

内閣府 地方創生推進事務局

## 地域における若者の修学・就業の促進 –キラリと光る地方大学づくり–

### 事業概要・目的



- 「**地方大学・産業創生法**」に基づき、首長のリーダーシップの下、**産官学連携**による地域の中核的産業の振興や専門人材育成等を行う優れた取組を、地方大学・地域産業創生交付金事業※により重点的に支援  
※国費97.5億円（R3年度）
- 「**キラリと光る地方大学づくり**」を進め、地域における若者の修学・就業を促進
- **令和2年度**、多様な自治体の申請確保のため、**計画作成支援を行う申請枠を新設**
- **令和3年度**、5年間の国費支援後、**当初計画以上の加速・強化**が期待できる取組に対し、**最大4年の追加支援する枠組みを新設**

### 地方大学・地域産業創生交付金の採択状況

- 平成30年度：16件の申請中 **7件**（平成30年10月19日）  
**採択事業：富山県、岐阜県、島根県、広島県、徳島県、高知県、北九州市**
- 令和元年度は3件の申請中 **2件**（令和2年1月31日）  
**採択事業：秋田県、神戸市**
- 採択にあたっては、「地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会」（座長：坂根正弘コマツ顧問）において、書面評価・現地評価・面接評価からなる複層的な評価を実施

## 島根県

R3 事業費総額 8.0 億円（うち国費5.1億円）

先端金属素材グローバル拠点の創出 -Next Generation TATARA Project-

- 高付加価値製品を世界に供給する**特殊鋼関連産業と島根大学**が連携して**先端金属素材の研究開発**を行うことにより、今後成長が期待される「**航空機**」、「**モーター**」産業での**事業展開**を推進。
- **Oxford大学等と連携**し、次世代たたら協創センターでの研究開発の推進、高度専門人材育成に産学官金を挙げて取組み、「**先端金属素材の中心『島根』を創出**」、さらには県全域に広がる**鋳物、金属加工等の関連産業への波及**を目指す。

### 【これまでの成果】

- 島根大学において**マクロ～原子レベルの素材観察技術や合金設計のシミュレーション技術など最新の先端金属素材研究を行う基盤を確立**。航空機エンジン用の**超耐熱合金等の新材料**及び難加工材である**アモルファス合金を用いた世界最高クラスの高効率モーターコアを開発中**。
- 最先端の金属素材研究拠点となる「**次世代たたら協創センター**」（センター長：**Oxford大学Roger Reed教授**）が島根大学内に竣工（R3年4月供用開始）。
- 島根大学総合理工学部に研究室への早期配属やOxford大学への留学も可能な「**材料工学特別コース**」を設置（R3年度開始）。



たたら操業実習（島根大）



耐熱合金を用いる航空機エンジン



アモルファスコアモーター  
（プロトタイプ）



次世代たたら協創センター

# 地方大学・地域産業創生交付金 交付対象事業（9件）

## 平成30年度採択（7件）

**岐阜県** 「日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す生産技術の人材育成・研究開発」



東海国立大学機構(岐阜大、名古屋大)、川崎重工業、ナブテスコ等が連携。航空宇宙生産技術の研究開発や、生産システムアーキテクト育成を実施し、日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す。



**広島県** 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」

広島大とマツダを中核とし、地域の実績・強みのあるモデルベース開発による材料研究や、自動車等の制御・生産プロセスのスマート化を図るとともに、「ものづくり」と「デジタル」の融合領域を牽引する人材育成を行う。

※モデルベース開発：実機ではなく、シミュレーションによる設計・評価を行い、開発の効率化等を図る手法

**高知県** 「“IoP（Internet of Plants）”が導く「Next次世代型施設園芸農業」への進化」



生産性日本一の施設園芸農業を更に高度化するため、高知大、高知工科大、高知県立大、農業団体等の連携により、栽培、出荷、流通をカバーする世界初のIoPクラウドを構築。若者に訴求する農業への転換を図る。

※IoP：多様な園芸作物の生理・生育情報を可視化。作物・環境・栽培・流通データを統合し、AIにより営農支援

## 令和元年度採択（2件）



**秋田県** 「小型軽量電動化システムの研究開発による産業創生」

秋田大、秋田県立大、IHI、アスター等が連携し、航空機等の電動化システムの研究開発を推進。起業家精神を喚起する産業人材開発の推進も通じ、電動化システム研究開発における世界的な拠点化を目指す。



**富山県**

「『くすりのシリコンバレーTOYAMA』創造計画」

世界の「薬都とやま」を確立すべく、富山大、県立大、県薬総研、県薬業連合会等が連携。医薬品生産技術の革新や有望シーズの発掘・開発により、医薬品生産金額1兆円(R9)を目指す。

**島根県** 「先端金属素材グローバル拠点の創出－Next Generation TATARA Project－」



島根大と日立金属、SUSANOO等が連携。新研究所の所長としてOxford大から世界的権威を迎えるなど、航空エンジンやモーター用素材研究の高度化を図り「先端金属素材の中心『島根』」の創出を目指す。

※SUSANOO：特殊鋼加工技術を強みとする中小企業グループ



**徳島県** 「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」

徳島大と日亜化学工業等が連携し、新たな光源開発や光応用による医療機器開発を図るとともに、光応用専門人材を育成し、次世代光関連産業を牽引する世界最先端の研究開発・生産拠点の形成を目指す。

**北九州市** 「革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命実現プロジェクト」



九州工業大と安川電機が連携し、革新的な自律作業ロボットの開発をオープンイノベーションにより推進。地域企業への多様なロボット導入支援等に合わせ、国内外における新たな生産性革命の拠点化を目指す。



**神戸市**

「神戸未来医療構想」

神戸大、メディカロイド等が連携し、国産手術支援ロボットをはじめとする医療機器の研究開発や医工連携人材の育成を推進。オープンイノベーションを推進し、神戸医療産業都市において、医療機器開発エコシステム形成を目指す。

## 地方大学・地域産業創生交付金事業（内閣府地方創生推進事務局）

3年度予算額 内閣府及び文部科学省合計 **97.5億円**  
 （2年度予算額 97.5億円）

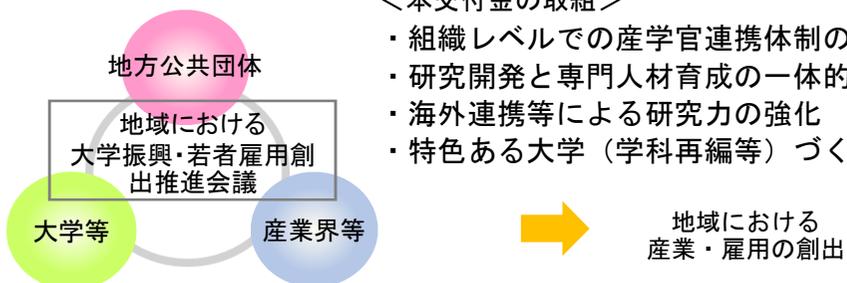
- ・内閣府交付金分：72.5億円（地方大学・地域産業創生交付金22.5億円、地方創生推進交付金活用分50.0億円）
- ・文部科学省計上分：25.0億円

### 事業概要・目的

- 地域の将来を担う若者が大幅に減少する中、地域の人材への投資を通じて地域の生産性の向上を目指すことが重要です。
- このため、本交付金では「地方大学・産業創生法」に基づき、首長のリーダーシップの下、地域の中核的産業の振興に向け、産官学連携により、地域に特色のある研究開発や人材育成に取り組む地方公共団体を重点的に支援します。
- これらの取組により、地域産業創生の駆動力となり特定分野に圧倒的な強みを持つ「キラリと光る地方大学づくり」を進めます。

<本交付金の取組>

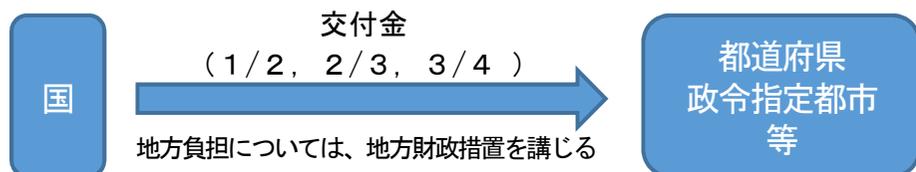
- ・組織レベルでの産学官連携体制の構築
- ・研究開発と専門人材育成の一体的推進
- ・海外連携等による研究力の強化
- ・特色ある大学（学科再編等）づくり



### 事業イメージ・具体例

- 国が策定する地域における大学振興・若者雇用創出に関する基本指針を踏まえ、首長主宰の推進会議（地方公共団体、大学、産業界等で構成）を組織し、地域の産業振興・専門人材育成等の計画を策定します。
- 地方公共団体が申請した同計画（概ね10年間）について、国の有識者委員会の評価を踏まえ、基本指針で定める基準（自立的性、地域の優位性等）により優れたものを認定し、本交付金により支援します（原則5年間）。
- 地方公共団体等が設定したKPIを、国の有識者委員会の評価を踏まえ毎年度検証し、PDCAサイクルを実践します。
- このほか、内閣府交付金の対象となる大学においては、文部科学省計上分（国立大学法人運営費交付金及び私立大学等改革総合支援事業のうちの25億円分）を交付します。
- 令和3年度も、令和2年度に引き続き、「本申請枠」に加え、評価委員や事務局等が申請団体に対し助言を行いながら、約半年間かけて計画作成の支援を行う「計画作成支援枠」の2つの枠で申請を受け付けます。

### 資金の流れ（内閣府交付金）



### 期待される効果

- 産学官連携による研究開発、専門人材育成等の取組の推進により、「キラリと光る地方大学づくり」を目指します。
- また、それにより、地域における若者の修学・就業が促進され、東京一極集中の是正に寄与します。